

わたしが考えた よかまちづくりのアイデア



集まったアイデアは、全部でなんと1,292件!

12月16日、小学生が考えた「まちづくり」のアイデアの中から、「まちづくり賞」に選ばれた21作品を表彰。提案した本人が市長の前で発表しました。

この企画は、「長崎市よかまちづくり基本条例」の制定をきっかけに、未来を担う子どもたちに、まちづくりについて考えてもらおうと、昨年度に続き行われました。

大人が思いつかないような、自由な発想から生まれたアイデアの数々。たくさんのヒントをいただいたので、今後も一生懸命まちづくりに取り組んでいきます。

■問い合わせ 都市経営室 (☎829-1111)

郵便局とともに 安心して暮らせるまちに



いざという時の、速やかな対応を目指します

12月15日、「長崎市と長崎市内郵便局の協力に関する協定」を締結しました。

これまで提供いただいていた、道路の異常や不法投棄、高齢者の見守りに関する情報に加え、障害のあるかたや子どもなどに見守りの範囲を広げ、異変に関する情報を提供いただくことになりました。

郵便局のネットワークを生かしたご協力をいただくことで、地域の見守り体制を強化し、皆さんが安心して暮らせるまちを目指します。

■問い合わせ 安全安心課 (☎829-1211)

いただいたご意見を 新庁舎の設計に生かします



より利用しやすい庁舎とするために、活発な議論が行われました

12月17日、最終回となる第3回新庁舎建設市民ワークショップを開催。約60人が参加しました。

これまでのワークショップで出された意見を参考に作成した、現時点での基本設計案をもとに、改めてグループで議論をした後、改善案を発表いただきました。

いただいたご意見を踏まえ、市では今年度中に基本設計を策定し、2019年度の工事開始、2022年度の完成を目指します。

■問い合わせ 大型事業推進室 (☎829-1411)

わたしの大事な一票が 未来を決めるかも



実際の選挙と同じ用具を使って行いました

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、若い時期から政治や選挙に関心を持ち、体験を通して選挙を身近に感じてもらうと、12月15日に式見中学校で模擬選挙を行いました。

選挙制度についての説明後、3つの模擬政党が政策を提案。それを聞いた3年生12人が、市のために必要な事業を提案したと思う政党に投票しました。

近い将来選挙権を得たら、この日のことを思いだして、投票に行ってもらえたらと思います。

■問い合わせ 選挙管理委員会事務局 (☎821-3520)

図書館の開館から10年 “ありがとう”を込めて



長崎中学校音楽部のハンドベル演奏が、式典に花を添えました

1月5日、市立図書館は開館10周年を迎え、記念式典を開催しました。

開館10周年記念応援プロジェクトから寄贈された、長崎出身の美術家・田川誠さんと市内在住の写真家・繁延あづささんが手掛けたポストカードや、記念リーフレットを配布。今後、朗読劇や講演会などの記念イベントを開催する予定です。

これからも、皆さんと一緒に成長できる図書館を目指していきます。

■問い合わせ 市立図書館(☎829-4946)

災害時の安心のために 活用させていただきます



寄付は防災体制整備基金への積立金になります

12月18日、長崎市管工業協同組合から、市の防災機能をより高めてほしいとの思いを込めて、寄付をいただきました。

同組合は社会貢献への取り組みとして、大規模な災害発生の際、給水の確保やライフラインの復旧などに努めています。

寄付は平成23年度から毎年度いただいております。市民の皆さんに防災意識を高めていただくために開催する、講演会や講習会などの経費に充てられます。

■問い合わせ 防災危機管理室(☎822-0480)

中学生が作ったロボット 全国の舞台へ



日吉中は3年連続、茂木中・南中は初出場です

九州大会予選を勝ち抜き、東京で開催される第18回全国中学生創造ものづくり教育フェア 創造アイデアロボットコンテスト全国大会への出場を決めた日吉中・茂木中・南中の3チーム。

1月17日に教育長を表敬訪問し、出場への意気込みを報告。生徒の皆さんが魂を込めて作った、大会で実際に操作するロボットたちの実演も披露しました。

努力の成果を存分に発揮し、大活躍することを期待します!

■問い合わせ 教育研究所(☎824-4814)

伝統や文化を感じさせる 新たな観光名所を目指して



井戸の陰には尾曲り猫(の像)がいます

旧磨屋町(現在の古川町周辺)の磨屋通り自治会が、古き良き長崎の風情を感じさせる井戸と行燈を設置。12月23日に除幕式とお披露目式を行いました。

周辺には、かつて磨ぎ職人が多く住み、大量の水を必要として多くの井戸が作られたといわれています。

夕方には行燈に明かりがともり、情緒あふれる通りが浮かび上がります。この取り組みは、「まちぶらプロジェクト」および「長崎創生プロジェクト」に認定されました。

■問い合わせ まちなか事業推進室(☎829-1178)

長崎創生推進室(☎829-1355)